

学校給食への 有機米の提供の取組について

学校給食への有機米提供の取組事例

三条市

約20%の有機米を使用

- 平成21年1月より有機米を導入。
- 市内の学校給食では、全て三条産の特別栽培米（一般米に比べ農薬使用回数50%以下、化学肥料の窒素成分50%以下）を使用。
- そのうち20%が有機米。

阿賀野市

1カ月間有機米の試験導入（令和5年11月）

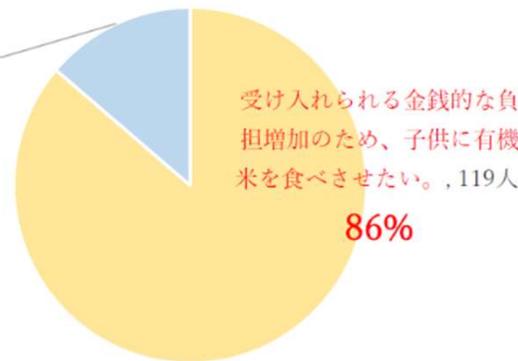
- 笹神地区3校の小中学校の学校給食に有機米の試験導入
- 水原地区の安野小学校の学校給食に減農薬米の試験導入
- 導入に向けて、児童・保護者にニュース調査ためのアンケート実施（令和5年11～12月）

阿賀野市、三条市HPより引用

阿賀野市 ニーズ調査アンケート結果①

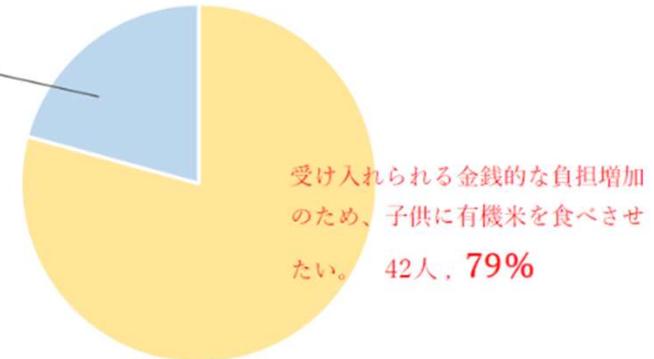
設問 有機米を使用するには、仕入費用が高くなります。仮に、増加した費用を市、JA・農業者、保護者で3分の1ずつ負担したとすると、保護者の負担は、生徒1人あたり、1か月で120円ほど増加となります。これに対して、ご意見を聞かせてください。

受け入れられない金銭的な負担増加のため、これまでどおりでよい。19人, 14%



笹神地区の小中学校

受け入れられない金銭的な負担増加のため、これまでどおりでよい。11人, 21%



安野小学校

子供に有機米を食べさせるために一定の金銭的負担を受け入れられる保護者が多かった。

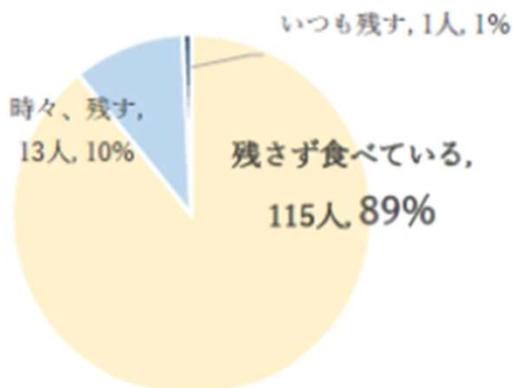
阿賀野市HPより引用

阿賀野市 ニーズ調査アンケート結果②

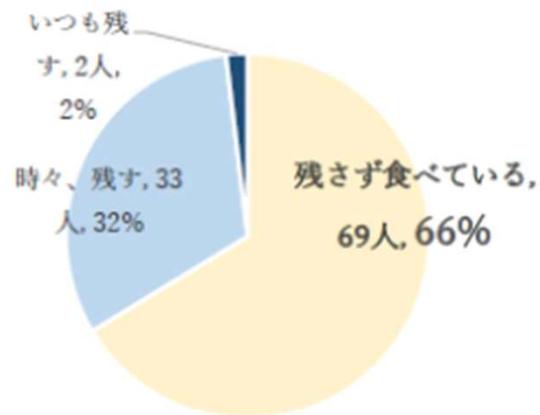
設問

いつも給食は残さず食べていますか。

笹神中学校

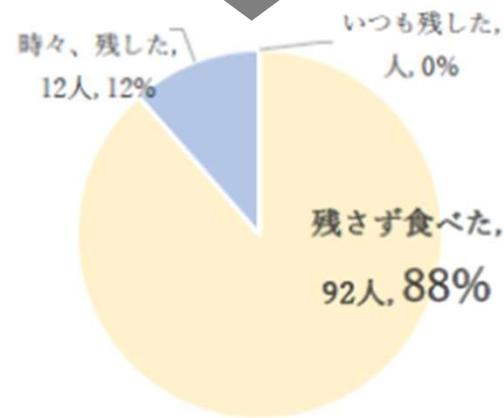
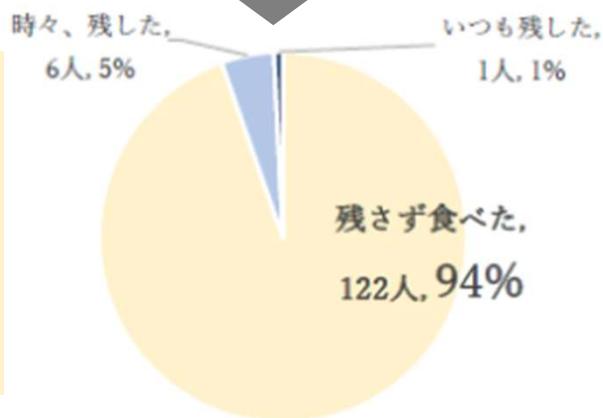


笹岡小学校



設問

「ごはん」が有機米に変わったことで、給食を残さず食べましたか。



有機米を使用した月の給食では、「残さず食べた」の割合が改善した。

阿賀野市HPより引用